

北見工業大学
准教授 春木 有亮

(地球環境工学科 / 地域未来デザイン工学科
基礎教育 / 地域マネジメント工学コース担当)

哲学カフェ：
Le Café Philosophique:
なんのために生き(てい)るのか
Pour quoi vivons-nous?

OPEN

2017.10.15.Sun 14:00-16:00

2017.10.27.Fri 18:00-20:00

2017.10.28.Sat 14:00-16:00

北見工業大学 1号館 A206 教室

スペシャルティ・コーヒーと、すばらしい講義を — ただし「哲学カフェ」は、参加者のみなさんがつくる講義です。

札幌市営地下鉄は、よくある「優先席」ではなく、「専用席」という位置づけで、「高齢者」や「からだの不自由な」者などを利用者に想定した席を、車内に設けています。はじめは「優先席」を設けていたが、「若い健常者」が席を占領するので、「専用席」に変えたそうです。

この「専用席」教育はおそらく浸透し、地下鉄車内の「専用席」に、のみならず、札幌市バスの「優先席」にも、立ち客で混んでいるときでさえ、だれも座らないことがしばしばです。この状況をして、札幌のひとは気遣いができると評するかたがいますが、はたして、そうでしょうか。

もし気遣いができるのであれば、そもそも「優先席」は、ましてや「専用席」は、不要です。なんのためにそうした席を設けたのかといえば、「高齢者」や「からだの不自由な」者などにつらい思いをさせないために、ひいては、だれであれ電車内でつらい思いをしている者がいないようにするために、です。とすれば、「優先席」や「専用席」があるうとならうと、車内につらいひとがいなければ、それでよいわけです。ところが現状は、「優先席」や「専用席」を空席にすることに固執し、かえって立ち客で車内が窮屈になっています。

これは、気遣いをしている（乗客みなものつらさを軽減しようとしている）のではけつてなく、たんに目的を見失っている、あるいは、目的を見失っていることに気づいてすらいない状況です。このことは、電車やバスの席の問題にとどまりません。ある目的に向かって、あるシステムやルール、ルーティーンを設けて、それらに即してふるまうとき、いつのまにか、それらに即してふるまうこと自体が目的となることがあります。

あいさつをすること、学校に行くこと、勉強をすること、職場に行くこと、仕事をする、食べること、眠ること、こどもをつくること、育てること、病気をなおすこと、盗むこと、歌うこと、ぐちを言うこと、犬を飼うこと、ひいてはその全体、つまり、「生きること」を、われわれは、なんのためにやっているのか。それを知らずに、知ろうともせずに生きてるとすれば、その生きかたは「正しい」と、胸をはって言えますか。

「なんのために生き（てい）るのか」。「哲学カフェ」は、たとえばそうした問いをめぐって、そのときその場に集まったメンバーで、意見をぶつけあう一つのチャンス（機会）です。参加者の年齢、性別、国籍に、いっさい制限はありません。生物種も問いません。生物かどうかも問いません（ただし、生きることについて話しあいます）。日本語を使って話しあうことが多いと予想しますが、使う言語に、制限はありません。

自分はあほだと思っているかたは、知恵をもらいに来てください。周りはばかばかりと思っているかたは、知恵を与えに来てください。小中高の学校の勉強がつまらないと思っているかたには、つまらない勉強があるということを知っていただけます。

「哲学カフェ」は、てきとうに、なんとなく生きていくことから脱するための最初の一步を、一杯を、提供します。

SERVER（議題とカフェを提供）

はるき ともあき
春木 有亮

1977年6月14日に兵庫県で生まれる。北見工業大学工学部准教授。専門は、美学、芸術学、デザイン論。日本のロックンロール・グループ、Recto Bersoのスタッフ。博士（文学）。著書に、『実在のノスタルジースーリオ美学の根本問題』（2010年）、論文に、「恰好」から「かっこいい」へー適合性 suitability の感性化（2017年）など。音楽作品に、『Nice To Love You!』（2012年）。第3回「KIKI:GAKU OF Seasons」大賞（2011年）、北見工業大学ベストティーチング賞（2013年、2015年）。

MENU

- ・エスプレッソ（ホット）
 - ・アメリカーノ（コールド・ホット）
 - ・カフェ・ラテ（コールド・ホット）
 - ・青森産りんごの
ストレイト・ジュース（コールド）
- すべて無料

■参加費 : 無料

■日時 : 10月15日(日) 14:00-16:00 10月27日(金) 18:00-20:00 10月28日(土) 14:00-16:00

■会場 : 北見工業大学1号館A206教室

■もうしこみ : 北見工業大学研究協力課地域連携担当

【TEL】0157-26-9158 【FAX】0157-26-9155 【E-mail】kenkyu09@desk.kitami-it.ac.jp

*プログラムは、各日で完結します。各日とも、参加者は15名までです。参加ご希望の日をおしらせください。

複数の日をご希望いただいた場合は、そのうちから一つ、参加いただく日を選ばせていただきます。

*15日(日)の回のもうしこみが前日(14日)・当日(15日)である場合、また、28日(土)の回のもうしこみが当日(28日)である場合は、080-5337-9253(春木)に、電話でおもうしこみください。